

第54回東海公衆衛生学会学術大会 抄録集

会期 平成20年7月26日（土）

会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

メインテーマ

「生活習慣病の新しい予防時代における

公衆衛生の役割」

学術大会長 青木 伸雄
(静岡県厚生部理事)

ご 挨拶

この度、第54回東海公衆衛生学会学術大会を静岡県において開催できますことは真に光榮に存じます。本大会は、東海地方における公衆衛生従事者と公衆衛生研究者の交流を通じて、会員相互の連携と、公衆衛生活動・研究の向上に資することが期待されているものであります。

さて、平成17年以降の動きとして、介護保険法の改正、医療制度改革関連法の制定、高齢者保険制度の改革、特定健診のスタートなどめざましいものがあります。そこで、本大会のメインテーマを「生活習慣病の新しい予防時代における公衆衛生の役割」と致しました。このテーマは水嶋春朔先生の特別講演のテーマともなっており、これまでの老人保健法時代の四半世紀を総括されるとともに、公衆衛生の役割について論じられます。

シンポジウムにおいては、食育を通じた生活習慣病予防、未成年の喫煙防止対策、糖尿病予防研究会を中心とした生活習慣病予防対策、産業保健・保健師の実施する保健指導及び大学と連携し運動を軸にしたボランティア育成についての発表があります。今後の各地における健康づくり活動に有益な情報が提供されます。

一般演題として、健康づくり、母子保健、成人保健、高齢者保健、感染症、食品衛生等について、多数の口演、示説発表があります。

また、付随行事として、静岡県の主催による公開講座「生活習慣病時代の慢性腎臓病対策（熊谷裕通先生）」、および「いきいき東海サテライト」が開催されます。公開講座は、一般の人々が無料で参加できるものであり、生活習慣病のなかでも比較的頻度が高く、近年注目されている慢性腎臓病を取り上げて、最新の健康情報を広く提供することを意図しております。

最後に、東海公衆衛生学会の意義を理解され、協賛していただいた多数の団体・企業と助成金をいただきました日本公衆衛生学会に深く感謝しますとともに、本大会の益々の発展を祈念して挨拶とさせていただきます。

平成20年7月

第54回東海公衆衛生学会学術大会

大会長 青木 伸雄

目 次

ご挨拶

1	学術大会プログラム	1
2	学術大会に参加される皆様へ	2
3	一般演題（口演）一覧表	5
4	一般演題（示説）一覧表	7
5	特別講演	11
6	シンポジウム	13
7	一般演題（口演）	23
8	一般演題（示説）	45
9	資料	83
	・ 第53回東海公衆衛生学会学術大会の報告	
	・ 学術大会協賛団体・企業	
	・ 東海公衆衛生学会賛助会員	
◎	公開講座	97
◎	いきいき東海サテライト集会	99

第54回東海公衆衛生学会学術大会プログラム

会 期	平成20年7月26日(土) 9:30~15:00
会 場	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)
学術大会長	青木 伸雄(静岡県厚生部理事(健康づくり担当))
メインテーマ	「生活習慣病の新しい予防時代における公衆衛生の役割」
9:15~	受 付(6階ロビー)
9:30~ 9:35	開 会 式(6階大ホール)
9:40~11:10	一般演題発表 ○口演発表(5階501会議室、502会議室、4階第1研修室) 計22演題 ○示説発表(6階小ホール:会場内にパネル設置) 37演題
11:15~12:15	特 別 講 演(6階大ホール) テーマ:「生活習慣病の新しい予防時代における公衆衛生の役割」 座 長:尾島 俊之(浜松医科大学健康社会医学講座教授) 講 師:水嶋 春朔(横浜市立大学医学部社会予防医学講座教授)
12:20~13:00	評 議 員 会(5階504会議室)
13:05~13:25	総 会(6階大ホール)
13:30~15:00	シンポジウム(6階大ホール) テーマ:「生活習慣病予防の実践活動」 座 長:巽 あさみ(浜松医科大学医学部看護学科地域看護学教授) 犬塚 君雄(愛知県尾張福祉相談センター長) シンポジスト: 清水 里子(岐阜県西濃保健所健康増進課) 高田 直美(愛西市役所保健部健康推進課) 谷出早由美(三重県津保健福祉事務所総務企画室企画課) 門田しず子(ブリヂストン磐田工場 総務・環境保全課) 松田 圭子(名古屋市瑞穂保健所保健予防課)

<学会外事業>

15:15~16:30	公 開 講 座(6階大ホール) ※公開講座は県の事業となります。 テーマ:「生活習慣病時代の慢性腎臓病対策—その狙いと食事療法の役割—」 座 長:青木 伸雄(静岡県厚生部理事(健康づくり担当)) 講 師:熊谷 裕通(静岡県立大学臨床栄養学教室教授)
16:40~18:10	いきいき東海(全国いきいき公衆衛生の会東海支部) サテライト集会 (4階第1研修室) テーマ:「子ども、働き盛り、高齢者の全てを巻き込んだ ポピュレーションアプローチを目指して」 世話人:加藤 恵子(愛知県健康福祉部健康対策課) 犬塚 君雄(愛知県尾張福祉相談センター長) 報 告:尾島 俊之(浜松医科大学健康社会医学講座教授) 大串 文子(東海市市民福祉部保健福祉課)

学術大会に参加される皆様へ

参加者の方へ

- (1) 受付は6階フロアにて、午前9時15分より行います。
- (2) 参加者の方は、受付で参加費をお支払いください。
参加費は、会員：1,000円、非会員：2,000円、学部学生：500円となっております。
- (3) 非会員で今回入会される方は、予め入会手続きを済ませた後、参加費をお支払いください。
- (4) 会場内では参加者用ネームプレートを着用ください。
- (5) 会場周辺は、昼食をとることができる店がありませんので、各自ご用意ください。
なお、当日10時まで受付にて特製弁当（税込み、飲み物付1,000円）の注文を承ります。ご希望の際は受付にて引換券をご購入ください。
- (6) 会場には駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

座長の方へ

- (1) 総合受付で座長の受付を行います。
担当する演題発表時間の30分前までに済ませてください。
なお、担当する演題発表時間が9時40分からの場合は、9時30分までに受付をしていただければ結構です。
- (2) 各会場において、適宜、進行をお願いします。
演題の発表時間は口演・示説ともに1題10分（発表7分、質疑3分）を予定しております。

口演発表の方へ

- (1) 総合受付で口演発表者の受付を行います。
受付は発表時間の30分前までに済ませてください。
- (2) 発表者席を各会場の前部に設けます。
前演者の発表が始まりましたら、次発表者席への移動をお願いします。
- (3) 進行は座長の指示に従ってください。
発表時間は1題10分（発表7分、質疑3分）です。時間厳守をお願いします。
- (4) 追加・訂正資料がある場合は、各自、当日会場まで持ち込んでください。各発表会場で配布できます。

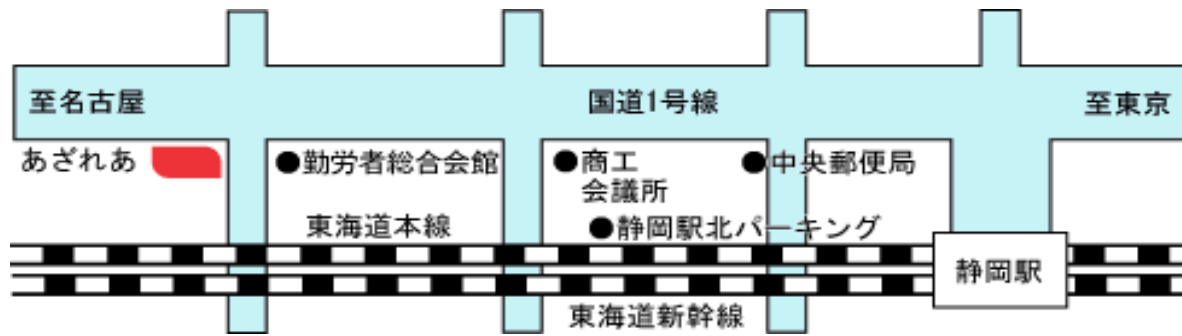
示説発表の方へ

- (1) 総合受付で示説発表者の受付を行います。
- (2) 受付終了後、9時40分までに指定のパネル（縦170cm×横110cm）に各自資料の掲示をお願いします。
資料掲示用の画鋏等をご用意いたします。
- (3) 座長前発表をされる方は、座長の指示に従ってください。
発表時間は1題10分（発表7分、質疑3分）です。時間厳守でお願いします。
- (4) 自由質疑で発表される方は、演題毎に指定した30分間、発表資料の前に待機して、討論の時間に当ててください。
討論の時間変更をご希望の場合は、受付時に質疑時間を記載する紙をお渡ししますので、ご記入の上、掲示をお願いいたします。
- (5) 12時50分以降、掲示物を撤去して各自でお持ち帰りください。
15時15分までには、撤去し終わるようにしてください。

学生参加者の方へ（学生の集い）

- (1) 昼休憩の時間、5階501会議室を、学生の交流の場にします。
- (2) ご自分の昼食を持参の上、お集まり下さい。
- (3) 事前申込等不要ですので、お気軽にご参加下さい。

会場「あざれあ」案内図



JR静岡駅北口を出て左手の郵便局をまがり、国道1号沿いに西へまっすぐ、徒歩9分

会場別日程一覧表

時間	会場	6階		5階		4階	5階
		大ホール・ ホール前ロビー	小ホール	501会議室	502会議室	第1研修室	504会議室
9:15～	受付						
9:30～9:35	開会式						
9:40～11:10			示説発表 37題 座長前15題 自由質疑22題	口演発表 8題、1題10分	口演発表 7題、1題10分	口演発表 7題、1題10分	
11:15～12:15	特別講演						
12:15～13:05 (12:20～13:00)	昼休憩			昼休憩 (学生の集い)			(評議員会)
13:05～13:25	総会						
13:30～15:00	シンポジウム						
学 会 事 業 終 了							
15:15～16:30	公開講座						
16:40～18:10						いきいき東海 サテライト集会	

一般演題（口演）

○ 5階 501会議室 9:40～10:20

『健康づくり①』

座長：鈴木 輝康 静岡県富士健康福祉センター所長

番号	演 題 名	発 表 者
A-1	特定健診・保健指導にむけて 一県民トータルケア実施調査事業について 第2報一	尾関 明美 あいち健康の森健康科学総合センター
A-2	朝食摂取習慣の関連因子	仲井 宏充 佐賀県伊万里保健福祉事務所（保健所）
A-3	中学生スポーツ活動中に起こる体調不良などの症状と食生活習慣との因果関係について	北出 かおる 名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科
A-4	運動指導時のリスク管理に関する調査と対策	松本 綾子 あいち健康の森健康科学総合センター

○ 5階 501会議室 10:30～11:10

『健康づくり②』

座長：加治 正行 静岡市保健福祉子ども局保健衛生部
参与

番号	演 題 名	発 表 者
A-5	生活習慣病予防を目的とした運動教室の健康関連QOLへの影響	西田 友子 名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻
A-6	スポーツ行動と年収の関連についての研究	柴田 陽介 浜松医科大学健康社会医学講座
A-7	企業内で実施した3人1組の参加による減量プログラムの効果	久保田 晃生 静岡県総合健康センター
A-8	認知症状のある者に対するトレーニング効果	井本 岳秋 静岡県総合健康センター

○ 5階 502会議室 9:40～10:20

『母子保健』

座長：清水 弘之 さきはひ研究所長

番号	演 題 名	発 表 者
B-1	東三河北部医療圏内における産科医療の実態	古河 俊哉 浜松医科大学健康社会医学講座
B-2	3か月児健診で育児困難感に関するアンケートを実施して	山口 華奈 名古屋市中保健所
B-3	思春期の男子を持つフルタイムで働く女性労働者の仕事と子育てに関する困難について	山崎 加帆里 キャノン株式会社
B-4	乳幼児健診で子育て支援のニーズを判定する基準～母子保健スキルアップ研修での討論から～	山崎 嘉久 あいち小児保健医療総合センター

○ 5階 502会議室 10:30～11:00

『成人・高齢者保健』 座長：奥野ひろみ 静岡県立大学看護学部准教授

番号	演 題 名	発 表 者
B-5	医療・介護職員の抑うつ度と脂質過酸化の関連性について	坪井 宏仁 三重大学 大学院医学系研究科 発生再生医学分野
B-6	高齢者の「食」を支える介護予防のあり方 ～家族力の低下を支える地域力を活かして～	若杉 早苗 静岡県牧之原市役所
B-7	地域在宅高齢者に対する精神的健康における検討	原田 直子 旧名古屋大学大学院医学系研究科

○ 4階 第1研修室 9:40～10:20

『感染症』 座長：浜島 信之 名古屋大学大学院医学系研究科教授

番号	演 題 名	発 表 者
C-1	CYP2C19遺伝子型を用いたピロリ菌除菌自由診療：第4報 除菌率	浜島 信之 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学/医学推計・判断学
C-2	透析患者の不明熱に対する抗結核薬の診断的治療に関する研究の中間報告（第2報）	岡田 理恵子 名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学／医学推計・判断学
C-3	認定小規模食鳥処理場における汚染実態調査 －細菌汚染の現状－	青木 和夫 愛知県一宮保健所
C-4	岩盤浴の実態調査	澤木 香 名古屋市港保健所 生活環境課

○ 4階 第1研修室 9:40～10:20

『食品衛生・その他』 座長：日置 敦巳 岐阜県関保健所長

番号	演 題 名	発 表 者
C-5	チェックカラー-Histamineの有用性と魚介類のヒスタミン産生について	寺田 悟 静岡市保健所食品衛生課
C-6	産業看護職に対する認識についての研究 ～看護職と直属上司の比較を通して～	杉山 友理 東芝ライテック株式会社
C-7	保健師に必要な資質・能力の明確化に関する研究	船橋 香緒里 藤田保健衛生大学医療科学部看護学科

一般演題（示説）

○ 6階 小ホール 9:40～10:20

『座長前発表①』

座長：豊嶋 英明

JA愛知厚生連安城更生病院 健康管理センター所長

番号	演題名	発表者
D-1	人工透析患者実態調査及び血糖値要精密者へのグループインタビュー結果から見えてきた生活習慣病予防対策～特定健康診査・特定保健指導を効果的に実施するためには～	古川 馨子 静岡県牧之原市役所
D-2	学内全面禁煙と施設利用者の意識・行動変容に関する研究	河邊 真好 名古屋市立大学医学部公衆衛生
D-3	静岡県市町における生活習慣病のSMRとその県内順位と地域差	宮本 秀樹 静岡県総合健康センター
D-4	病院経営における医業未収金について	辻 達也 名古屋市立大学医学部公衆衛生

○ 6階 小ホール 10:30～11:00

『座長前発表②』

座長：若井 建志

名古屋大学大学院医学系研究科准教授

番号	演題名	発表者
D-5	愛知県における子どもの不慮の事故死亡の現状	青山 亜由美 あいち小児保健医療総合センター
D-6	愛知県新城保健所管内におけるうつスクリーニング予備調査	高橋 七緒 浜松医大健康社会医学講座（医学部4年生）
D-7	ストリートチルドレンにおけるHIV感染の危険性とその予防について	福島 一彰 名古屋市立大学医学部公衆衛生

○ 6階 小ホール 9:40～10:20

『座長前発表③』

座長：永田 知里

岐阜大学大学院医学系研究科教授

番号	演題名	発表者
E-1	高齢施設入所者に対する音楽療法の有効性	大森 由美子 東海学院大学 短期大学部 児童教育学科
E-2	色覚問題：障害と異常と特性と医療関係者としてどう向き合うか	高柳 泰世 本郷眼科・神経内科・名古屋大学
E-3	路上から社会を考える～野宿者の結核問題から～	福元 進太郎 名古屋市立大学医学部公衆衛生
E-4	教職員のストレスとメンタルヘルス：大規模全数調査より	会津 安理 浜松医科大学健康社会医学講座

○ 6階 小ホール 10:30～11:10

『座長前発表④』

座長：佐甲 隆

三重県立看護大学公衆衛生・地域保健学教授

番号	演 題 名	発 表 者
E-5	高齢者の健康生活調査について	水野 敏明 中日本自動車短期大学
E-6	高齢者の健康状態について	大森 正英 東海学院大学バイオサイエンスセンター
E-7	高齢者の生活満足度について	井上 広国 岐阜女子大学
E-8	高齢者の活動能力について	水野 かがみ 中部学院大学

○ 6階 小ホール

『自由質疑発表①』

自由討論時間 9:40～10:10

番号	演 題 名	発 表 者
1	科学的ウォーキング教室参加者におけるBMIと食品摂取頻度の関連について	永田 順子 静岡県総合健康センター
2	若年者向けの「ウエストすっきりダイエット」指導	垣内 久美子 名古屋市職員健康管理センター
3	食事におけるGlycemic Indexとライフスタイルとの関連	大庭 志野 岐阜大学大学院医学系研究科 健康障害半減講座（岐阜県）
4	社会生活基本調査による年齢階級別食行動の記述疫学	菊地 慶子 浜松医科大学医学部看護学科
5	体重の増減に関連する要因 ～AGESプロジェクト～	尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学
6	青壮年者を対象とした身体活動量増加のための歩数計の活用とその有効性の解析	白木 まさ子 静岡県立大学食品栄養科学部
7	週休制度・就業体制とスポーツ実施の関連	早坂 信哉 浜松医大健康社会医学講座
8	男子高校生の喫煙意識の変化について ～02年度、07年度調査の比較～	横山 由美 東員病院 栄養課

○ 6階 小ホール

『自由質疑発表②』

自由討論時間 10:10～10:40

番号	演 題 名	発 表 者
9	保育園又は幼稚園に所属する年中児の保護者における喫煙状況	玉置 真理子 岐阜大学医学部看護学科
10	事業主の健康管理意識を高めるために ～「ふじ職域健康知得報」と「事業主健康相談」～	白川 実千代 静岡県富士市健康対策課健康政策担当
11	更年期女性のツボ刺激による症状の変化	安田 孝子 浜松医科大学医学部看護学科
12	本態性低血圧における東洋医学的瘀血（おけつ）	長谷川 拓也 浜松医科大学 健康社会医学講座
13	保育園における発熱と欠席率の分析	野田 龍也 浜松医科大学健康社会医学講座
14	高齢者の生活自立に係る要因の検討 － 静岡県高齢者生活実態調査の分析 －	杉山 真澄 静岡県総合健康センター
15	コホート研究による高齢者の主観的健康感の悪化因子の検討：AGESプロジェクト	鄭 丞媛 日本福祉大学アジア福祉社会開発研究センター・地域ケア研究推進センター

○ 6階 小ホール

『自由質疑発表③』

自由討論時間 10:40～11:10

番号	演 題 名	発 表 者
16	「認知症予防活動に園芸をとりいれて」 －90歳以上の高齢者を対象にして－	木村 典子 愛知学泉短期大学
17	岐阜・西濃地域の地下水の水質形成と変遷	西澤 貴樹 岐阜県都市建築部
18	安倍川の濁りの原因と生態系への影響について	内藤 博敬 静岡県立大学 環境科学研究所
19	マムシ咬傷における抗毒素血清の疫学的意義	山田 友世 浜松医科大学健康社会医学、国保佐久間病院
20	新任保健師の担当地区アセスメント研修プログラム－ 実践と成果－	奥野 ひろみ 静岡県立大学看護学部
21	高齢者における治療の中断は要介護のリスク要因なのか？	村田 千代栄 浜松医科大学健康社会医学
22	地震災害における地区組織と一般ボランティアの検討 ～能登半島地震の現地調査より～	原岡 智子 浜松医科大学